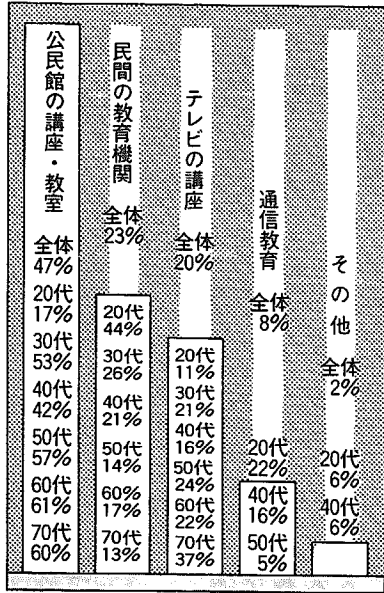


Q-8 今後あなたが何かを学習するとき利用しようと思うものは。



Q-7 公民館活動のいろいろをみなさんにお知らせするにはどんな方法が。

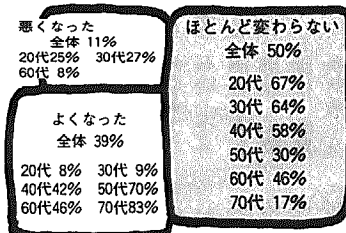
広報いわむろ
全体 37%
20代 40%
30代 36%
40代 32%
50代 46%
60代 36%
70代 25%

公民館だよりなど
全体 34%
20代 36%
30代 23%
40代 44%
50代 27%
60代 41%
70代 33%

区長・各種団体
全体 14%
20代 8%
30代 9%
40代 8%
50代 27%
60代 18%
70代 16%

その他
全体 15%
20代 16%
30代 32%
40代 16%
50代 60代 5%
70代 25%

Q-5 得ている情報は5年前と比べてどんな状況ですか。



Q-6 情報は主にどんなものから得ていますか。

広報いわむろ	全体 35%
20代 20%	30代 50%
40代 30%	50代 38%
60代 36%	70代 40%
区長や各団体から	全体 20%
50代 13%	60代 36%
70代 30%	
防災無線	全体 18%
40代 10%	50代 22%
60代 14%	70代 20%
その他	全体 27%
20代 16%	30代 32%
40代 16%	50代 0%
60代 5%	70代 25%

# 生涯学習のすすめ

## 「生涯学習」は「生涯楽習」 楽しく愉快的な楽習を目指して

まず公民館について考えてみましょう。Q:1によると、第一位は「公民館は村の集いや行事をするところ」となっています。第二位は「ほぼ同率で、自分の趣味を伸ばすところ」、自主的に学習をするところ、仲間づくりをするところ、です。(学習)という面から考えてみると、この第一位と第二位が入れかわった姿が理想といえます。

次に、公民館がみなさんにとって身近な施設かどうかについては、Q:2の結果を見ると、「身近」と答えている人が七〇%近くいます。これは非常に大きな割合だといえるでしょう。今後さらにもっとも身近です」と感じてもらえる人が増えるよう工夫を凝らしていかなければなりません。

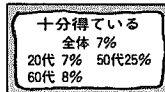
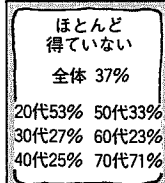
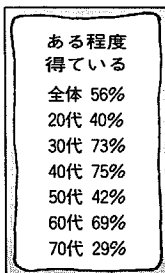
### 「公民館は身近な施設だ」が七〇%

今年の広報12月号で、岩室村の生涯教育・生涯学習の概略についてお話ししましたが、いかがでしたか。文字にしてしまうと、なんとなくむずかしくなったり、堅苦しくなったりするものですが、実際にはみなさんが日常生活のほかに何かやれたら、きつと生活にうるおいが生まれ、張りのある毎日を過ごせるのでは……と公民館などが中心になって、その「きっかけ、づくりを応援しよう」ということなのです。ところで、(生涯学習)は(生涯楽習)でなければ、と思いませんか。学ぶことは楽しむことだ、とまで言うつもりはありませんが、生涯楽しく学べたらいいですね。そんなことを基本に考えて、楽しく愉快的な楽習を目指していきましょう。そこで今回は、アンケート結果からいくつかをご紹介します。現状を分析してみたいと思います。

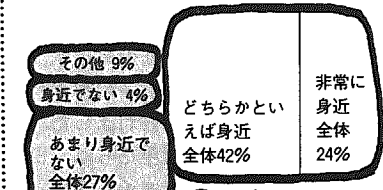
## 村民の意識調査から

●調査対象者/20歳代から70歳以上までの村民100人  
●回収率/78% (78人)

Q-4 あなたが学習情報を得ている程度は。



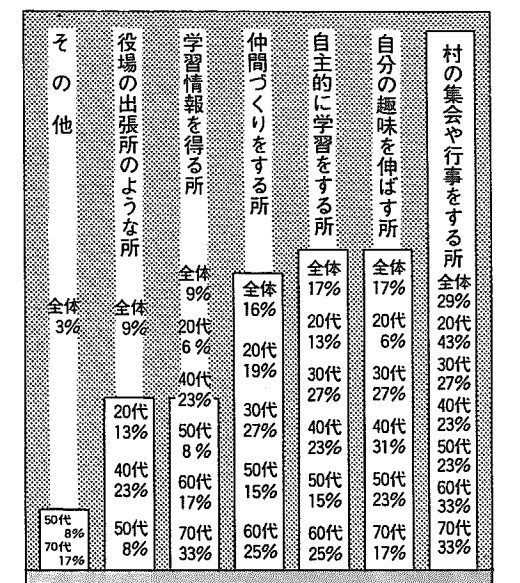
Q-2 あなたは公民館を身近な施設だと思いますか。



Q-3 ■身近に感じない理由

公民館で何をやってかわからない	全体 46%
20代 78%	30代 25%
40代 25%	50代 34%
60代 0%	70代 75%
役所的で堅いイメージ	全体 33%
20代 11%	30代 75%
40代 33%	50代 75%
60代 11%	70代 25%
場所が不便	全体 17%
20代 11%	30代 33%
40代 11%	50代 67%
60代 17%	70代 33%
その他	全体 4%
60代 33%	

Q-1 あなたは公民館はどんなことをする場所だと思いますか。



次に(学習)について考えてみましょう。学習情報については、六〇%程度の人が情報を得ているということがQ:4で分かります。ただし、ほとんど得ていない、という人もかなりいます。学習をするうえで、情報"は重要なポイントですから、広く行きわたるよう工夫する必要があります。とくに二十代と七十代のみみなさんに情報不足現象がみられます。

次に五年前と比べたらということですが、「よくなった」と四〇%程度の人が感じているようです。全体的に向上しているという評価はよいのではないのでしょうか。そして情報を得る手段として、「広報いわむろ」、「防災無線」、「各区長・団体の通じて」が多くなっています。Q:7の今後望む手段としても、これらの手段があげられており、これからもより一層の充実が必要となるでしょう。とくに公民館だより、チラシ、ポスターには大きな期待がかけられていますので、今後も紙面の充実と幅広い広報活動を心がけていく必要があると思います。



「村の学習体制がどうあるべきか」検討・審議を重ねている生涯学習を進めるまちづくり推進研究協議会

おでかけください

**岩室村生涯教育研究会**  
 ■とき:3月2日(水曜日) ●分科会  
 ■午前9時から ●講演会  
 ■午後1時から ●会場:岩室村公民館講堂

また、「身近ではない」と答えた人のその理由は、「公民館で何をやっているのかわからない」さらに「役所的で堅い感じ」というのが圧倒的に多いようです。このあたりに力を入れた施策が必要だと考えられます。

## 今後は公民館だよりやチラシの充実を期待

## 二十歳代は公民館の利用が案外低迷

ところで、いざ学習をしようとするときに利用しようと思うものは、村全体では公民館、民間の機関、テレビの講座の順で、公民館が一位と大きな期待が寄せられていることがわかります。しかし、年代別にみると二十歳代では民間の教育機関・通信教育・公民館の順となり、公民館はなれが目につきます。これは前回ご紹介したアンケート結果の、二十歳代の人は学習・スポーツをやっている割合は多いが、公民館の利用は少ない」ということに相通じますね。